

変革の余地を生み出す

最適な通信/ネットワーク環境を実現するマネージド・サービス・プロバイダーの選択

コンテンツ

1. エグゼクティブ・サマリー
 2. マネージド・サービスを選択する理由
 3. 適切なプロバイダーの選択
 4. リーディング・プロバイダーとのパートナー関係の構築
 5. 詳細情報
-

エグゼクティブ・サマリー

ビジネスと世界の発展がますます加速するなか、企業はビジネス変革の要求への対応に懸命に取り組んでいます。通信およびネットワーク分野の進化は、企業の前進を促す革新的なビジネス・モデルを創造する大きな可能性を秘めています。その可能性を、CIO が既に日々取り組んでいる各種課題の微妙なバランスを崩すことなく、活用する方法を見いだすことが重要です。CIO はネットワークと通信の機能がもたらし得る機会について十分に認識してはいるものの、以下のポイントに注力しなければなりません。

- ・ 高価なコスト: 企業ネットワークは、企業の IT コストのかなりの部分を占めている場合があり、その割合は、平均で IT の総コストの約 17% です。¹
- ・ パフォーマンスの確保: ネットワークおよび通信リンクは 常時接続され、利用可能である必要があるとともに、右肩上がりのトラフィックの増大に対処できるよう拡張が容易でなければなりません。
- ・ 複雑さの拡大: ネットワークは、拠点、ネットワーク・デバイス、エンド・ユーザー・デバイスの増加や、仮想化のような技術的な進歩が加わったことにより、ますます複雑さを増しています。また、それらを管理する複雑さも加わっています。
- ・ 技術的専門知識: 急速なテクノロジーの変化は、最新のイノベーションへの対応、すなわちその活用を困難にしています。

ますます複雑化する通信およびネットワーク技術を管理することは、コストの削減、スキルの高い人材の減少、また安定稼働を常に維持しなければならないというこれまで以上のプレッシャーの拡大によって、非常に困難な作業になるおそれがあります。その結果、企業はこうした課題に対処するための新たな方法を求めています。

マネージド・サービスのようなさまざまなソーシング・オプションに着目することで、企業はいわば戦略的な転換を行うことができ、それにより、コストと複雑さの軽減、パフォーマンスの向上、社内リソースの利用の最適化を実現することができます。本ホワイト・ペーパーでは、目前の課題に直面した CIO をマネージド・サービスがどのように支援できるか、および、マネージド・サービス・パートナーを検討する際にどのような特性を要求するべきかについて取り上げます。

マネージド・サービスを選択する理由

通信およびネットワーク機能の技術的な進化は、ビジネスの優位性を生み出す莫大な機会につながります。さまざまなタイプのデバイスと通信を活用することにより、実質的にどこからでもビジネスができるようになり、10 年前には想像すらできなかったほど革新のレベルを高めることができます。しかし、ネッ



トワーク・トラフィックのボリューム、種類、発生源が倍増しているため、同様に課題も増大しています。企業は、以下を実現する方法を常に検討しています。

- ・ コスト増加を抑えつつ、複雑さの問題を解消
- ・ ネットワークおよびアプリケーションのパフォーマンスと可用性の向上
- ・ 地理的に分散した社員に対するサポート
- ・ IT サービスの品質向上と変革の促進
- ・ トラフィック・フロー、データ可用性、アップタイムの制限を伴わずに、セキュリティ上の脅威を削減
- ・ 予想外のセキュリティ・ホール、障害、または災害への備え

前述の課題に対する単純な解はないものの、マネージド・サービス・プロバイダーへの移行が大幅なコスト削減につながり得ることが経験により示されています。そしてこの削減により、企業はビジネスの優位性を生み出すための再投資を行うことができます。マネージド・サービスは、急速に変化する市場の状況とテクノロジーの進化に対応する優れた柔軟性を提供することができるため、リスクと複雑さをほとんどあるいは全く増大させることなく、企業が有用なリソースを移行して自社のコア・コンピテンシーに集中できるよう支援します。

通信およびネットワークは企業が抱える重大なニーズの広範囲にまたがり、マネージド・サービスは、そのようなニーズの多くをサポートすることができます。

- ・ ネットワークの接続性：拠点数が増加するにつれて、マネージド・サービスは、拠点間のネットワーク接続の調整を支援して可用性の維持に貢献することができます。
- ・ ネットワーク・インフラストラクチャー：LAN、WAN、データ・センター環境内のネットワーク・デバイスの増加とこの増加に付随する複雑さの存在に伴い、マネージド・サービスは、インフラストラクチャーを管理する適切なテクノロジーの提供を支援することができます。
- ・ コミュニケーションとコラボレーション：各種のコミュニケーションとコラボレーション・ツールは、生産性の向上と出張費の削減などのコスト削減において重要な役割を果たします。マネージド・サービスは、この重要な役割をより効果的に維持することで、インフラストラクチャーの順調な稼働を支援します。
- ・ 通信事業者の請求書管理：多くの企業はさまざまな通信事業者のサービスを利用しており、その維持が課題となっていることがあります。マネージド・サービスは、さまざまな通信事業者からの多数の請求書の統合と検証を支援することができます。

セキュリティ、動画、モビリティといった先進的な IT 分野に企業が投資をしようとするとき、専門的なサポートが必要であり、こうした分野における運用担当者を見つけることは困難でコストがかかる場合があります。このことは、運用が世界中に分散している多国籍企業においてはなおさらです。MNS（マネージド・ネットワーク・サービス）プロバイダーの専門知識を活用することで、この課題を軽減することができます。IDC、「Worldwide Managed Network Services 2012-2016 Forecast」、2012年5月²

適切なプロバイダーの選択

それでは、企業がビジネス上の戦略的施策のために資金をより自由に活用し、顕著なコスト削減を実現することを支援できるマネージド・サービス・プロバイダーとは、どのようにあるべきでしょうか？ マネージド・サービス・プロバイダーは、ネットワークの移行をできる限り順調に実施する能力を含め、幅広い能力を提供する必要があります。順調な移行を行うには、ネットワークとアプリケーションへの影響、移行時間とシステムのダウンタイム、セキュリティとコンプライアンスの問題、初期費用と運用支出の比較など、幅広い要素を考慮に入れる必要があります。

適切なマネージド・サービス・プロバイダーは、通信/ネットワーク環境だけでなく、その移行も管理する強力なツール、メソッド、およびデリバリーに関する専門知識を提供することで、こうした問題点の把握とその対処を支援します。マネージド・サービス・プロバイダーの選択においては、慎重に検討すべき重要な能力が何点かあります。

移行スキル

マネージド・サービス・プロバイダーは、貴社のネットワークだけでなく、そのネットワークが貴社の各種アプリケーションに果たす重要な役割とアプリケーションへの影響についても理解していなければなりません。移行は脅威となり得る作業であり、接続性とパフォーマンスに影響を与え、機能停止を引き起こしかねません。プロバイダーは、計画を策定し、アプリケーションとユーザーへの影響を最低限にしてその移行を実行できなければなりません。移行に必要な時間も重要であるため、接続性やパフォーマンスを損なわない迅速な移行を確約し、それを実行できなければなりません。

幅広いサービス

企業にとって適切なパートナーとは、ベスト・プラクティスのアプローチに加え、アセスメントと計画、移行、継続的なサポートといった範囲のアクティビティをサポートするスキルを提供することにより、Time to Value の短縮を支援できるパートナーです。そのため、クラウド・ベース・サービスに加え、WAN、キャンパス（構内）および LAN、IP テレフォニーとユニファイド・メッセージ、ビデオ・コミュ

ニケーションなど、幅広いネットワーク・インフラストラクチャー・サービスと通信管理サービスを備えたマネージド・サービス・プロバイダーを探ることが必要です。また、ベスト・プラクティス・ツール、メソッド、プロセスだけでなく、マルチベンダーのテクノロジーや異機種混在の IT ネットワークを管理およびサポートする専門知識を備えていなければなりません。

有効なツールと分析

ユーザー、デバイス、アプリケーションの数の増加に伴い、ネットワーク・インフラストラクチャーと通信の運用にわたる効果的な意思決定の推進に必要な、可視性と制御レベルを実現することが困難になるおそれがあります。また、さまざまな専有管理コンソールや手動でのアラート・プロセスが原因で、深刻な中断やコンプライアンス問題につながりうる重大なイベントが簡単に見落とされてしまう可能性があります。そのため、デバイス・タイプまたはベンダー、役割、機能を問わず、サービス全体にわたりワークフロー、ツール、データ・セットを相互接続する統合されたオープン・インフラストラクチャーを提供できるベンダーと協力関係を結ぶことが必要です。

柔軟性

入念な設計とテストを経て開発された既製のサービスは、企業独自の環境により簡単に適用できるので、カスタム・ソリューションと比較してより優れたメリットを提供することができます。そのため、ネットワーク設計および実装から、最適化サービスおよびメンテナンス、技術サポート、ファイナンスに及ぶ幅広いサービスを提供できる、マネージド・サービス・プロバイダーが必要になります。プロバイダーは、使用するハードウェア、ソフトウェア、プロトコルを規定する専有システムではなく、さまざまなデバイス・タイプとベンダーへのサポートをはじめ、最新の標準、フォーマット、およびテクノロジーへのサポートを提供しなければなりません。

卓越したグローバル・デリバリー能力と専門知識

グローバル化の到来とともに、企業のオフィスと企業のネットワーク拠点が数カ国に限定されることはもはやなくなりました。そこで企業が求めるべきは、グローバルなネットワークやネットワーク・オペレーション・センター、標準化されたデリバリー・プロセスを備えたグローバル・デリバリー・センター・インフラストラクチャー、および強力なローカル・サポート・チームを備えたグローバル・プロジェクト管理能力を有するプロバイダーです。通信事業者の数が数百社規模に拡大する可能性があるなか、プロバイダーは、あらゆる通信事業者と強力な協力関係を築き、Time to Valueの短縮とデリバリー・プロセスの合理化を実現しなければなりません。さらに、世界中の顧客に対しネットワークおよび通信インフラストラクチャーの管理と維持をとどこおりなく実施しているという、長年の実績と経験を備えていなければなりません。

リーディング・プロバイダーとのパートナー関係の構築

IBM は、お客様が現在直面しているネットワークと通信の課題について把握しています。IBM® インテグレートド・コミュニケーションズ・マネージド・サービスは、事前構成済みのサービスから成る広範囲にわたるポートフォリオを提供し、お客様の投資収益率の最適化とリスクの軽減に貢献します。IBM の幅広いサービスには、ネットワーク接続、ネットワーク・インフラストラクチャー、

コミュニケーション & コラボレーション、および通信費管理のソリューションが含まれます。IBM は、単一およびマルチベンダーのネットワーク・インフラストラクチャー、WAN、キャンパス（構内）およびLAN、データセンター、IP テレフォニーとユニファイド・メッセージ、ビデオ・コミュニケーションなどのサービスに対し、ベンダー中立型のサポートを提供します。

柔軟なサービス・オプションが、監視、管理、セルフサービス、あるいはそれらすべての組み合わせといった、企業のビジネス・ニーズにさらに一致した制御レベルを維持できるように設計されています。また、セキュリティ・レベルを自社のビジネス目標にさらに一致させられるよう、24 時間 365 日、すなわち、夜間、週末、ピーク時を含め必要な場合はいつでも、ベンダーに縛られることなく、必要な機能やデバイスを柔軟に組み合わせることが可能となります。

通信およびネットワークの 4,000 もの技術認定を有する専門技術者の世界的ネットワーク、有力なグローバル・サービス・プロバイダーとの強力な関係、ならびに卓越したグローバル提供品質の裏付けのもと、お客様のネットワークとアプリケーションの迅速かつシームレスな移行を、ダウンタイムを抑えつつ推進します。また IBM は、この分野の詳細な専門知識と専門のツールを提供し、お客様の高度なニーズに対応するため、優れた回復力、セキュリティ、および拡張性を備えたネットワークを維持できるよう支援します。広範囲にわたる分析機能は、より有効なレポート、根本原因を特定するログ分析、通信とネットワークのニーズおよび機器のための単一のダッシュボードを通じて、意思決定の改善に貢献します。170 カ国に及ぶお客様のうち、既に 3,000 社以上がネットワーク管理を IBM に委託し、ネットワーク・パフォーマンスの改善とコストの削減を実現しています。

詳細情報

IBM のインテグレートド・コミュニケーションズ・マネージド・サービスの詳細については、ibm.com/services/jp/ja/it-services/jp-sc-igs-networking-services.htmlをご覧ください。また、マネージド・サービス機能の説明をご依頼ください。

IBM のマネージド・サービスが貴社にどのような利点をご提供できるかを確認できる、TCO（総所有コスト）無償レビューもご利用可能です。

IBM グローバル ファイナンス(IGF) は、お客様が、ビジネスに必要な IT ソリューションを、最もコスト効率高く戦略的な方法で取得できるように支援します。IGF は、お客様(事前に信用審査の承認が必要)とともに、ビジネス目標や開発目標に合わせてファイナンス・ソリューションをカスタマイズし、効果的なキャッシュ管理を実現し、総所有コストを改善します。IGF の詳細については、次の Web サイトをご覧ください。ibm.com/financing/jp/



© Copyright IBM Corporation 2012

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Produced in Japan
September 2012

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本資料に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。日本 IBM 製品は、日本 IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は自己の責任で、適用される法規定および規制を順守しなければならないものとします。日本 IBM は法律上の助言を提供することはいたしません。また、日本 IBM のサービスまたは製品が、お客様がいかなる法規も順守されていることの裏付けとなると表明するものでも、保証するものでもありません。

IBM グローバル・ファイナンスのオフアリングは、IBM Credit LLC を通して (米国の場合)、またその他の IBM 子会社および部門を通して (全世界)、有資格の企業および官公庁のお客様に提供されます。料金、および各種オフアリング等の適用可能性は、お客様の信用格付け、ファイナンス条件、オフアリングの種類、機器および製品の種類、および各種オプションに基づいて定められ、国によって異なる場合があります。ハードウェア以外の品目については、一時払料金 (かつ一回払い料金) であり、ファイナンスによる資金提供となります。レートおよびオフアリングは、予告なしに変更、拡張、または撤回される場合があります。また、国により異なる場合があります。その他の制限がある場合もあります。

¹ Gartner, 「Why a Network Plan Is the Best Way to Control Your Network Cost」, 2011 年 10 月。すべてのコスト (ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および人員) を含む、Gartner の IT 主要評価指標データに基づく。

² IDC, 「Worldwide Managed Network Services 2012-2016 Forecast」, 2012 年 5 月。資料番号: 234731



Please Recycle